

第2章 後期アクションプランの考え方

1. 後期アクションプランに求められる方向

(1) 前期アクションプランの進捗及び緑の基本計画の推進状況を踏まえた今後の方向

平成 32 年度を目標年次とした後期アクションプランは緑の基本計画の総仕上げとなる計画となり、緑の将来像「いのちきらめき 緑の風そよぐ 庭園都市・さいたま」の実現を図る計画であるといえます。そのため、前期アクションプランの進捗状況を踏まえ、地域の身近な緑を活かしながら、緑の景観の向上を意識した緑など、つながりのある緑の確保を図り、あわせて、緑に関する情報の発信や多様な主体がかかわる緑の創出を積極的に進めることにより、市民の緑に対する評価や満足度をさらに向上させ、緑の「魅力」や「価値」を実感できるようにしていく必要があります。

一方、緑の基本計画に掲げている緑の目標水準について、特に担保性のある緑の確保や都市公園などの整備が目標と隔たりがある(P9・10 参照)状況であるので、目標の実現に向けて、引き続き公園の整備をはじめとする事業をさらに推進し、担保性のある緑を確保していく必要があります。

(2) 時代の変化や都市計画マスタープランの改定を踏まえた今後の方向

超高齢社会の到来や限られた財源、さらに低成長の時代を踏まえた昨今の社会情勢にあっては、貴重な社会資本を効率的に活用し、維持管理・更新を進め、次世代に確実に引き継いでいくこと、あるいは、環境への負荷の軽減・低炭素や防災への配慮を含め、将来に向けて「持続可能なまちづくり」などが課題となっています。

上記のような社会情勢を踏まえ、「さいたま市都市計画マスタープラン」を平成 26 年 4 月に改定し、目指すまちの姿として、「環境と共生し、安全・安心で郷土としての愛着と誇りが持てる住み続けたいまち」「活力があり、美しく、魅力に満ちた訪れたいまち」を掲げています。また、今後の社会資本の費用管理を適正に行いつつ、市民などの多様なニーズへの対応や地域主体のまちづくりを進めていくために、エリアマネジメントや都市施設マネジメントを推進していくこととしています。

このようなことから、緑のまちづくりとしても、行政だけでなく、市民、企業などの多様な主体が協働により水や緑の保全・活用及び維持管理・運営を行い、市民ニーズを踏まえた適切なサービスを提供していくことが求められています。

(3) さいたま市における緑のまちづくりの今後の方向

さいたま市における緑のまちづくりの方向性としては、環境保全や防災、さらにはスポーツ・レクリエーションの場など、緑がもたらすさまざまな役割を再認識し、量的な緑の保全、維持管理を進めていくことに加えて、民有地も含めた日常の身近な場所に、「魅力」や「価値」のある緑を、市民や企業など多様な主体との協働により創出していくことが求められています。

さらに、このような緑のまちづくりの方向性について、市の内外に向けて効果的に情報を発信し、緑の役割や重要性についてより理解を深められるよう、積極的にPRを図っていく必要があります。

2. 後期アクションプランの2つの視点と目指す方向

今後、緑豊かなまちづくりをさらに推進していくため、前項で整理した方向性を踏まえ、有効な手段として、以下のような2つの視点を新たに設定しました。今ある貴重な緑を保全・維持していくことに加えて、この2つの視点の考え方を新たに取り入れることにより、さいたま市に住みたい、住んで良かったと実感できる「身近な緑の創出」を図っていくものとします。

■後期アクションプランの2つの視点と目指す方向

視点1 ● 緑に関する効果的な情報の発信

… 多くの人知っているように

- ・ 緑のまちづくりを市民の理解と協力を得ながら取り組みを進めていくために、また市民・事業者が緑の「魅力」や「価値」を実感でき、緑の役割、重要性について、理解を深められるよう積極的にPRします。
- ・ 市の内外に向けてもさいたま市の緑の特性や魅力について効果的に情報を発信します。

事業例

- サクラサク見沼田んぼプロジェクト推進事業
- オープンガーデンの促進
- 緑に関する活動や資源の情報の共有化

社会情勢の要因

- ・ 限られた財源
- ・ 超高齢社会
- ・ 環境負荷軽減
など

身近な緑の創出

環境の保全、コミュニティの形成、シンボルづくり、防災、スポーツ・レクリエーションの場、良好なまちなみの形成など、緑の「魅力」や「価値」について市民が身近に実感でき、住むことへの誇りと愛着を高めていきます。

視点2 ● 緑づくりの取り組みの多様な展開

… 多くの人がかかわり、つながっているように

- ・ 市民と緑とのかかわりや企業との連携を強化するとともに、現在取り組まれている活動を広げ、結びつけ、活動のすそ野を広げ、多様な主体による緑を守り、つくり、育てる取り組みを展開します。

事業例

- 市民ボランティアの活動支援(花いっぱい運動、みどり愛護会など)
- 緑のカーテンづくり
- みどりの街並みづくり助成事業